



旅する公務員

第16弾

埼玉県 横瀬町
商工観光課 遠藤 哲

「旅する公務員」とは？

◆ 「A面」的 目的

磐梯町役場の情報システムクラウド化により
テレワーク環境が整ったことから
磐梯町と交流のある自治体などに職員を派遣し
実際に旅をしながら
テレワークをすることで生じる問題を顕在化させ
ひとつひとつ障壁を解消していく。

◆ 「B面」的 目的

自治体間の交流を推進し
互いの先進事例を共有することにより
地域課題の解決を図る。



「旅する公務員」第16弾の概要

旅した期間 2023年11月27日（月）～2023年12月1日（金）

旅した職員 商工観光課商工観光係 主査 遠藤 哲

旅した場所 埼玉県 横瀬町

旅する公務員 1日目



初日の移動は乗り換えを考慮し、池袋乗り換えのルートで横瀬町に向かいました。

- ・磐越西線 磐梯町6:08発 → 郡山
- ・東北新幹線 郡山 → 大宮
- ・JR湘南新宿ライン 大宮 → 池袋
- ・西武池袋線 特急ラビュー
池袋 → 横瀬10:47着

池袋からの特急移動だと座席もゆったり座れるので楽です。時間に余裕があったので横瀬町役場に行く前にLAC横瀬に行き宿泊手続きを行い、13時から今回お世話になる横瀬町役場振興課長の案内で横瀬町の町長、副町長、まち経営課長へあいさつ後、役場庁舎をご案内いただきました。

1日目に案内していただいたの主な施設等 ①

あいさつの後、まち経営課、振興課の方に町内公共施設や観光スポットを案内いただき、説明をしていただきました。横瀬町は大きく分けると芦ヶ久保駅と「道の駅 果樹公園あしがくぼ」を中心とした芦ヶ久保エリアと横瀬駅や役場庁舎を中心とした市街地エリアに分かれており、大きな公共施設はあまりない印象でしたが、町内を走る西武鉄道の使わなくなった駅の店舗スペースなどを空いた施設を有効に活用し地域の拠点となるような施設を作っていました。

【あしがくぼ笑楽校】写真右
廃校となった旧芦ヶ久保小学校の校舎を活用して、町の事業の他に映画やドラマなどの撮影などに活用しているとのことでした。



【道の駅 果樹公園あしがくぼ】
写真左

芦ヶ久保エリアの主要施設で国道299号沿いに施設があり、西武鉄道の芦ヶ久保駅にも近く、直売所、食堂、ベーカリー等の施設と近くに加工施設がありました。

案内していただいたの主な施設等 ②



【アスタバ】（写真左）

西部鉄道の空いた売店スペースを活用した休憩施設、芦ヶ久保駅の利用者や周辺の登山コースや冬の「あしがくぼの氷柱」など芦ヶ久保エリアの観光スポットへアクセスする拠点としての活用の他、災害用トイレのテントを活用した着替えスペースや鹿のジビエを販売する自動販売機などが設置されていました。

【秩父札所三十四ヶ所観音霊場 秩父札所八番 西泰山 西善寺】

（写真右）

秩父札所三十四ヶ所観音霊場の一つである西善寺、紅葉が見頃な時期だったこともあり、樹齢600年コミネカエデがいい雰囲気を出していました。



案内していただいたの主な施設等 ③



【小松沢レジャー農園】 写真左

横瀬町で一番大きい農園でいちごやブドウ狩りなど季節ごとにいろいろな収穫体験やそば・うどんの手打ち体験などが楽しめ、食堂や直売所も併設されていました。

【武甲山と寺坂棚田】 写真右

横瀬町のシンボルである武甲山と埼玉県内最大級の棚田「寺坂棚田」、地元住民の協力を得ながら棚田の維持管理を行い7月に「寺坂棚田ホタルがかり火まつり」、9月に「寺坂棚田彼岸花まつり」など棚田を活用したイベントを開催しているそうです。



案内していただいたの主な施設等 ④



【花咲山公園】

横瀬町では「日本一歩きたくなる町 横瀬」をコンセプトに公園の遊歩道やコースマップの整備を行っています。

案内していただいたの主な施設等 ⑤

【LAC横瀬】

【LAC横瀬と周辺施設】

LAC横瀬は旧農協の支店をリノベーションし2階は宿泊施設、1階は旧施設の特徴を残しつつワークスペースなどとして活用し、イベントスペースエリア898なども併設されており、町民や町に関わる人のコミュニティの場にもなっているそうです。その他にもLAC周辺にあるNAZELABやチャレンジキッチンENgaWA、駅前食堂などを案内していただきました。



【チャレンジキッチンENgaWA】



【NAZELAB】



観光イベント

【あしがくぼの氷柱】

毎年1月上旬から2月下旬まで行われるイベントで、人口的に作った氷柱にライトアップを行っています。氷柱は西部鉄道の線路から見えるところにあり、イベント実施時には最寄り駅の芦ヶ久保駅に特急を停車させたり、氷柱付近を通過時に減速運転をするなど西部鉄道とも連携した対応を行っているそうです。

令和4年度は7万3千人、ピーク時には12万人の集客があり、秩父エリアには他に3ヶ所天然や人口的に作った氷柱のライトアップを行っています。

準備には振興課の町田課長も携わっており、実施場所と準備状況を見せていただきました。



旅する公務員 2 日目

午前中は、横瀬町役場でのテレワークを行いました。令和6年度当初予算の作成を行いました。

基本的に資料があるものや個人で完結できる業務はある程度対応できましたが、職員同士で協議が必要な部分や細かい調整が必要な時はTeamsでの対応はストレスを感じました。

午後からは、町経営課の方の案内のもと道の駅に設置授乳施設の設置場所の現地確認に同行させていただきました。

LACにも「mamaro」という授乳施設が設置されており、道の駅に設置するものはその屋外用のものとのことでした。

写真右上：現地確認の様子

写真右下：LACに設置してある授乳施設 mamaro



旅する公務員 3 日目

3 日目は、横瀬町は、秩父市、小鹿野町、長瀬町、皆野町の1市4町での広域観光を推進しており、振興課の方の案内で、横瀬町以外の観光スポットを紹介していただきました。最初に広域観光の拠点を担当する「秩父おもてなし観光公社」を訪問しました。地域DMOとしての認定も受けており、ジオパーク秩父の運営の他にも、YouTubeの配信など地域の観光情報の発信を行っているそうです。また、週末の12月2日から3日に開催される「秩父夜祭」の準備が会場となる秩父神社周辺で進められていました。この夜祭は「ユネスコの無形文化遺産」にも指定されており、去年は28万人以上の見物客が訪れたそうです。

【秩父おもてなし観光公社】

秩父市役所の目の前にあり、事務所を訪問させていただきました。事務局の職員の他に各市町から職員を1名派遣し運営を行っているとのこと、事務局長を務める井上氏は、佐藤町長とも面識があるとのことでした。



3日目案内していただいたの主な施設等

【秩父神社（秩父市）】

私が訪問した時期は、12月2日（度）から開催される秩父夜祭の準備が、いろいろな所で行われておりました。秩父神社は日光の東照宮をオマージュして作られているとの話もあり、お元気三猿や北辰の梟、左甚五郎作の子育ての虎屋、つなぎの龍などの神社に施された彫刻が印象的でした。



【つなぎの龍】

左甚五郎の作品で、秩父観音霊場十五番札所の少林寺近くの天ヶ池で住み着いた龍があばれた際にはこの彫刻の下に水溜まりができていたことから、この龍の彫り物に龍を鎖で繋いだらその後は龍は現れなくなったという不思議な伝説があるそうです。よく見ると龍が鎖で繋いであります。



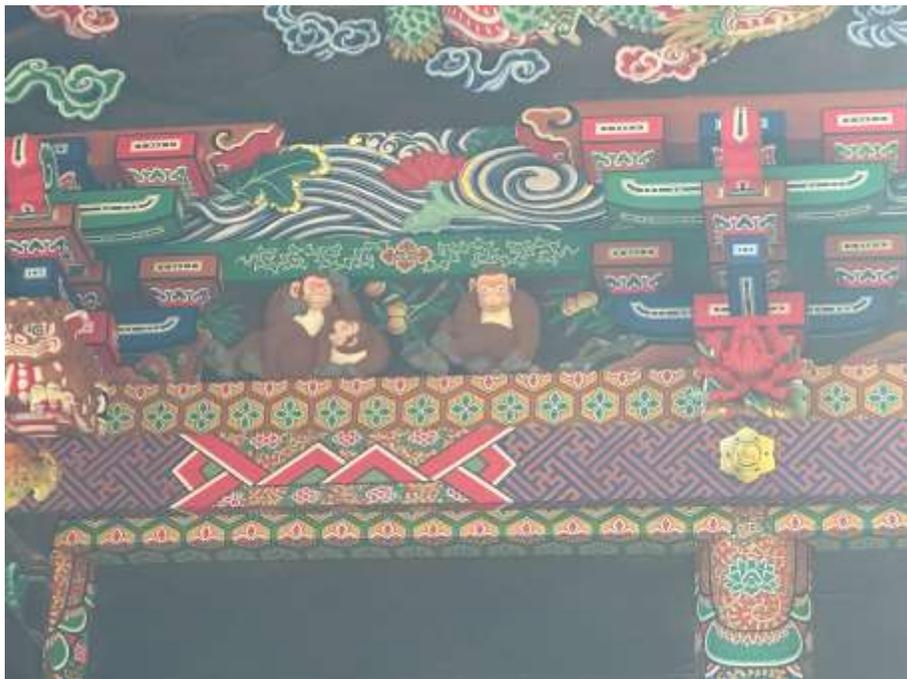
【北辰の梟】

梟は知恵のシンボルとして考えおり、梟＝不苦勞に通じることから、開運招福の標となっているそうです。



【お元気三猿】

日光東照宮の三猿は、日光が庚申信仰にちなんで「見ざる・言わざる・聞かざる」なのに対し、秩父神社の猿は「よく見・よく聞いて・よく話そう」といい「お元気三猿」として親しまれているそうです。日光と秩父の猿は表情がまったく違い日光は若い猿、秩父は年を取った猿と言われており、秩父神社の三猿には不老長寿の後利益があるとされるそうです。



日光東照宮の三猿

【長瀬の岩畳】

ライン下りで有名ですが、ラフティングやカヌー、SUPなどのアクティビティやキャンプ施設などアウトドアにも力を入れているようでした。



【その他に案内していただいた施設】

道の駅や役場などを案内していただきました。クライミングパーク神怡館は、この地域最大級のボルダリング施設、うさぎだ食堂は兎田ワイナリー直営の食堂で直売所も併設されており、試飲もできるそうです。



クライミングパーク神怡館
(小鹿野町)



道の駅 両神温泉薬師の湯
(小鹿野町)



道の駅 龍勢会館
(秩父市)



うさぎだ食堂（秩父市）



長瀨町役場（長瀨町）



皆野町役場（皆野町）



道の駅 みなの（皆野町）

旅する公務員 4 日目

午前は、職員の方に同行する形で振興課で管理している武甲山の山頂にあるトイレの閉栓作業に立ち会わせていただきました。

山頂までは、武甲山で石灰の採掘するために掘られた坑道を特別に許可を得て採掘業者の方の車に乗せていただき山頂へ向かい、閉栓作業の合間に山頂にある「武甲山御嶽神社」などを視察しました。

午後は、職員の方の案内で秩父市の「秩父まつり会館」やJAちちぶが運営する直売所の「アグリマルシェよこぜ」等の施設を視察させていただきました。





【武甲山】

山頂の標高は1,304mで、山頂からは秩父盆地が一望でき、この日は山頂からは群馬県の赤城山や東京スカイツリーを見ることができました。



【武甲山御嶽神社】

この神社は第十二代景行天皇の御代（約千九百年前）皇子日本武尊がご東征の折に武甲山の山頂に武具を埋めて関東の鎮護となしたことが起源となっているそうです。

旅する公務員 5 日目

最終日の5日目は、テレワークの予定でしたが秩父地域で地域デジタル通貨を導入する計画があり、秩父市で担当をしている秩父市産業観光部産業支援課の方と横瀬町振興課の方と意見交換を行いました。

秩父地域では、秩父市、横瀬町、小鹿野町、長瀬町、皆野町の5市町での広域での導入を検討しており、さるぼぼコイン等と同じように金融機関と連携した事業を展開していきたいとのことでした。この地域ではPayPayのキャンペーンを実施していたことがあり、デジタル通貨の概念が地域に浸透してる印象がありました。PayPayとの違いや地域通貨を使うメリットをどのように出していけるか、また広域で行う事業であるため、5市町での事業の方向性や考え方を共有していくことがポイントになるかなと思いました。

最後に、富田町長と井上副町長へ挨拶をして帰りは振興課の方に西部秩父駅まで送ってもらい磐梯町へ帰りました。



「A面」的 目的について

◆目的

磐梯町役場の情報システムクラウド化によりテレワーク環境が整ったことから磐梯町と交流のある自治体などに職員を派遣し実際に旅をしながらテレワークをすることで生じる問題を顕在化させ、ひとつひとつ障壁を解消していく。

◇感想

個人で完結できる業務であればある程度対応は可能だと思うが係員同士で調整が必要な内容はteamsでの調整はストレスを感じるが多かったが、テレワークに慣れてくればある程度改善できる部分はあるかと思います。

課題

- 直接係員同士のコミュニケーションが取れないため、teams を使う調整にストレスを感じた。
- 会計システムが使えないため、伝票の起票やシステム上のデータを見ることができない。
- 必要なデータをクラウドに保存しておけば、個人で完結できる業務はある程度対応可能かと思う。
- 私は個人で対応しましたが、電車内での使用等も考慮してパソコンの覗き見防止フィルターは準備してもらいたい。

最後に

今回の「旅する公務員事業」をとおして自分の業務の再確認や新たな気づきを得ることができました。振興課の皆様、横瀬町役場の皆様ご多忙ところ親切に対応していただきありがとうございました。





横瀬町マスコットキャラクター
ブコーさん

以上

「旅する公務員」第16弾
埼玉県 横瀬町

報告を終わります。

磐梯町役場 商工観光課
遠藤 哲

